

記者懇談会の記録

日 時	令和 7 年 6 月 30 日（月）13：30～14：00
場 所	岩見沢市役所 3 階 会議室 3-2・3-3
記者数	4 人

1 クーリングスポットの開設について

（市長）

昨年の夏は、最高気温が 30 度を超える真夏日が、7 月は 6 日間、8 月は 9 日間、9 月も 1 日あり、特に 8 月 12 日は、最高気温が 34.8 度を記録し、暑さ指数も日常生活において危険と判断される 31.0 に近づく 30.9 に達するなど、熱中症などの体調管理に気が抜けない日々が続きました。

そこで、今年の夏ですが、札幌管区气象台が発表した 3 か月予報によりますと、今年も北海道全域で平均気温が高くなる見込みであると公表されています。

昨年、岩見沢市では、危険な暑さから身を守る施設として、常設型の「涼み処」と、臨時に貸室などを開放する「クーリングシェルター」に分けて運用していましたが、今年からはこの二つを統合し、アラートの発表や気温にかかわらず、常時開設する「クーリングスポット」として運用することとしました。

現在工事中ですが、幌向総合コミュニティセンターほっとかんの一部の部屋にエアコンを整備するほか、北村支所に併設している北村学習交流館を加えるなど、公共施設 13 か所と民間施設 5 か所の、合わせて 18 か所を開設することとしています。

暑さの感じ方については、過ごしていच्छる環境や、ご自身の体調など、個人により異なりますので、気温や暑さ指数にかかわらず、暑さを避けるためにご利用いただきますようご案内いたします。

<質疑応答>

（北海道新聞）

クーリングスポットを開設して、7 月 1 日からの予定も確か前倒しで使えるようにされたかと思うのですが。

（市長）

そうですね。本庁舎だけなのですが。

（北海道新聞）

この間もずっと、6 月にはない暑さが続いていて、クーリングスポットとは別に、例えば学校とか、エアコンが付いているにしろ、なかなか体育館など学習内容と暑さとのバランスを見ながらやらなくてはいけないところも出てきていると思うのですが、何かその辺の対策はいかがでしょうか。

(市長)

特に今年の夏は教育委員会からまだ報告を受けていませんが、教室で行う分についてはエアコンを設置しているので特に支障はないかと思ひますし、おそらく暑い日はもう稼動していると思ひます。

あと、体育館についてはエアコン設備の整っているところはないので、そういう日は授業内容を工夫するとか、いろいろなことを各学校で対応していると思ひますが、暑いさなかに体育の授業が予定されているからといって、強行するというこゝろはないと思ひています。そこはバランスを見ながら。

(北海道新聞)

体育館のエアコンの話がありましたが、特段何か追加でやはり設置して欲しいというお話は。

(市長)

そういった要望はまだ直接お聞きはしていませんが、あるに越したことはないと思ひますが、体育館で実際にその効果を発揮するような設備を設置するとなると非常に多額の費用も要しますし、スポットクーラーといったやり方も、それも含めて教育委員会で十分検討してると思ひますが、暑い日にはそういう無理はしないというのが大原則になるかと思ひます。

2 いわみざわ彩花まつりの開催について

(市長)

今年は、7月3日木曜日から、あやめ公園、いわみざわ公園、駅東市民広場などを会場として開催されます。あやめ公園では、168種 12,000株のあやめや花菖蒲を、いわみざわ公園バラ園においては630種 8,800株のバラを鑑賞していただけます。

現在のところ、あやめはピークを過ぎていますが、バラはまもなく満開、昨日行きましたら、ほぼ満開状態かと思ひましたが、花菖蒲と併せてちょうど彩花まつりの期間に見頃を迎えます。

主な内容ですが、7月3日から6日まで、JR岩見沢駅前でメタセコイヤのライトアップを行います。あやめ公園では、毎年恒例となっております、あやめ株とあやめ団子の販売を7月3日から6日までの期間限定で行います。

また、いわみざわ公園では、5日土曜日に色彩館におきまして、箏曲演奏と野点が開催されるほか、5日と6日には旧緑のセンターにおいて、盆栽展が開催されます。

駅東市民広場公園では、昨年に引き続き、お祭り広場と観光踊りが開催されます。

5日土曜日には、地元農作物の販売やキッチンカーの出店、いわみざわねぶたの展示のほか、ダンス等のステージイベントが実施されるとともに、会場内に櫓を設置し、観光踊りが行なわれます。個人での自由参加となっておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。

また、7月26日土曜日には北海道グリーンランド遊園地との共催事業として、午後8時から遊園地を会場に、5,500発を打ち上げる花火大会が開催されます。当日の16時以降は、高校生以上1,000円、3歳から中学生まで500円の特別料金で入園することができます。

期間中、多くの方々にご来場いただき、岩見沢の初夏をお楽しみいただければと思っています。

<質疑応答>

特になし

3 北海道そらちグルメフォンド 2025 の開催について

(市長)

空知の雄大なロケーションと美味しいグルメを楽しむ、北海道最大級のサイクルイベントであります本イベントは、今年で 12 回目を迎えることとなります。

開催日は、8 月 24 日の日曜日、ロングとミドル、ショートコースの 3 種類のコースのほか、ミドルコースには未舗装路を走るグラベルコースも取り入れた 4 コースを設定しています。いわみざわ公園野外音楽堂キタオンを発着会場として、今年は、南空知の北回りで、岩見沢市から一部新篠津村を経由し、月形町、美唄市、三笠市を巡るコースとなっています。今年は、6 年ぶりにショートコースを設定していますので、ビギナーの方にも満足いただけるイベントになることと思います。

募集定員は、昨年の 800 人から増員し、全コース合わせて 1,000 人として、6 月 7 日から既にエントリーの受付が始まっており、7 月 14 日までの先着順となっていますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

また、コース上のエイド、補給所やゴール後に提供するグルメについては、各市町の特産品などをご用意する予定ですので、こちらも楽しんでいただけたと思います。

さらに、ゴール後のステージイベントでは、俳優や声優としてテレビや映画などで活躍されている大会ゲストの猪野学さんのトークショーや抽選会などを予定しているところです。

<質疑応答>

(北海道新聞)

グルメフォンドもかなり人気の催しだと思うのですが、何か市の観光政策と連動して新しく企画を考えたり、グルメフォンドに合わせて市の観光の何か催しをしたりとか PR をしたりとかいうご予定はございますか。

(市長)

グルメフォンドと連携して例えば街なかでイベントをするということは今まではやってなかったですね。岩見沢で前泊される方についてはそれぞれお楽しみいただきたいというところではあります。JOIN ALIVE は確か前夜祭などを街の中で開催していましたが、グルメフォンドは自転車を持ての参加になりますので、当日参加される方も結構いらっしゃるって、自転車で走ってきて、自転車でコースを回って、自転車で帰られるという方もいらっしゃいますので。

例えば地元のそれぞれの特産品ですとかそういったものについてはエイドでご協力いただきたいな

がら行っていますので、そこがいい PR の場になっているのは間違いないと思います。また、景色を見ながら特に今年は北回りで平坦なコースになりますので、安全でその後もお楽しみいただけるような環境をご提供したいと思っています。

(北海道新聞)

市長はお出にはならないのでしょうか。

(市長)

過去 2 回出たのですが、それぞれ完走できませんで、今年は今のところ出る予定は未定です。

3 その他記者から質問

< 質疑応答 >

(HBC)

最近話題になっている、日本ハムファイターズの 2 軍の本拠地の拠点を道内にということなのですが、この辺ですと江別とか旭川とか、まだ正式ではないですが手を挙げそうな感じなのですが、例えば岩見沢では、何かそのような話、市長のお考えはあるのでしょうか。

(市長)

公募の条件などをしっかり聞きに行ってくるように指示は出しています。例えば面積ですとか規模ですとか、どういった内容ですとか、まだ全く詳細は示されていないので。

まずその条件ですね。かなりの面積も必要になってくるでしょうし、そういったことをまず把握できなければ、と思っていますので、それはすぐ情報収集するように、早めに行くように指示は出しています。

(HBC)

例えばその条件が合うような感じでしたらその辺は。

(市長)

そこは条件次第で。そこは条件を見てからですね。

(北海道建設新聞)

文科省の学校施設環境改善交付金の追加採択が先日公表されたのですが、空知管内では砂川市由仁町、砂川は特に義務教育学校のグラウンド整備が採択待ちという状況にあったということで、今後どうするのかというところなのですが、岩見沢市は栗沢の義務教育学校の整備を予定されていますが、こちらの不採択が 4 月、6 月の時点で多いというような現状の影響といいますか、栗沢の義務教育学校整備への影響をどう捉えていらっしゃるかお聞きしたいのですが。

(市長)

学校の環境整備事業は例年かなり割り落としがある事業ですし、それ以外のインフラ整備の交付金としても、かなり割り落としがあるような現状なのですが、ただ、栗沢の義務教育学校は財源としてそれを使う予定ではいますが、まだその中身を固めている段階ですので、建設場所もど

こがいいのか、施設規模はどの程度が必要なのか、そういったことを今地元の方に対する説明と協議に入っている段階です。

そういう学校施設環境整備の申請に至る前の段階ですので、影響は具体的にはまだその前段階になります。

(北海道新聞)

今、栗沢の学校の話が出たので、空知管内の各地でも義務教育学校の建設見送りや延期が相次いでいる中で、栗沢に関してはその計画に変更といえますか、新築するという方向に変わりはないのでしょうか。

(市長)

方向性はその方向で今検討を進めています。ただ、資材費等々も含めて高騰している現状にありますので、適正な規模を含めて、今いろいろ協議を行っています。

(北海道新聞)

では、時期的なものも変わらないでしょうか。

(市長)

建設するのであれば、当初予定した時期に建てていきたいと思っていますが、単純に二つの学校の規模を合わせて一つのものを作るというより、今後の推移も含めて、適正な規模でしっかりとしたものを作るというコンセプトになりますので。

(北海道新聞)

その際はやはり他の小学校などの適正配置といったところも考慮して、ということになりそうですか。

(市長)

今後の適正配置の在り方というのは、以前から教育委員会を交えていろいろと議論していますので、集約できるところはできるだけ早めに集約していった方が、こどもたちの教育の環境と質の確保にはつながると思っています。前期計画、後期計画というものはありますが、前倒しする分には前倒して実施していった方がいいと考えています。

(北海道新聞)

今、後期計画はありますがその先のところは。

(市長)

もう方向性として出ているのが、確か北真小学校と上幌向、第二小学校、ですかね。あと地域バランスを見れば、幌向で幌向小中 1 校ずつというよりは、あそこはやはり拠点としては義務教育学校だとは思っています。

どうしても中学校あるいは小学校の適正規模を単体で維持するのは非常に困難になってくるかと思います。かといって、岩見沢の面積と、それから地域配置の状況を見ると、一つにまとめてという議論にもなりませんから。やはり地域にとっては必要な、特にコミュニティとしての機能

も、教育委員会の吉永教育長も答えていましたが、地域コミュニティにとって果たす役割は非常に大きいので、そういったことも含めて、になるかと思います。

（北海道新聞）

病院の件で、定例会の中でも目標合意金額に収まりそうだということでお話がありましたが、総事業費としても見通しとしては変わらない枠の中でお話を進めるような感じになりそうでしょうか。

（副市長）

今の段階では前に公表したものと変わってはいません。今回精査した数字で、最終的に出てきてどうなるのかというのを、再度調整するという形になります。

（北海道新聞）

事業費の中にも収まるような話の中で契約を。

（市長）

まずはその建設の主体工事が合意目標金額内に収まる見通しがついたというのは非常に大きいと思っています。

（北海道新聞）

それで、議会の答弁の中でも交付金 36 億円などきちんと財政措置をして計画を進めていくというお話もあったのですが、経営強化プランはいつぐらいに出来上がるのでしょうか。

（市長）

統合に伴って、もう既に、例えば病室はこの場所に設置して機器を入れると決まっているものもありますし、それからまだ協議中のところもありますので、そういった整理をして、できるだけ速やかに経営強化プランの中でお示ししたいと思っています。

それから、こちらに移っていただける職員の方も百数名、約 6 割ですね。その他にも非正規職員の方の説明会もこれから行いますから、そういったものは全部入れて、病棟をどう構成するかということも含め、更衣室の配置、診察室の増設ですとか、そういったものを全部含めて統合後の経営強化プランは示すことになるかと思いますので、もう少し時間がかかるかなと。ただ、できるだけ早くまとめたいと思っています。

（北海道新聞）

どれくらいの人数の方が働いて、どういう診療科があって、ということも含めて、新しい統合後の経営強化プランになると。

（市長）

ベースになっているのは基本的合意しているもので、労災病院にある診療科は基本的にこちらで受け継ぐような形ですが。歯科口腔外科については今の市立総合病院の地下 1 階に配置をします。改修して機器も移設協議中です。心不全と心臓リハビリについては本館の 2 階に設置する予定にしています。それから、内視鏡検査については健康センターにも配置した方が効率的ではな

いかと。それと、患者さんが増えますし職員も増えますから、それに伴って診察室を先ほど申し上げた通り増設予定にしています。職員更衣室についても、本館と新棟のそれぞれ別の用途で使っている部屋を変えるような準備も協議しています。それから駐車場については議会でもお答えしましたが、旧中央小学校跡地を職員用に簡易整備する予定をしています。それで、病院周りの駐車場を患者の皆さん用に開放する予定としています。

外来と病棟の再編については労災病院側と市総合病院側でいろいろと今協議していきまして、もう少し先ですができるだけ早くしたいと思っています。

(副市長)

担当部局もできるだけ、あと 2 年のプランの計画なので精度を高めたいというのもあって、協議中のものを少しでも解決して。ただ、できるだけ早くお示ししたいということです。

(市長)

やはりどうしても、先ほど申し上げたように統合後の診療機能をどう拡大できるのかというのと、それから職員が、これからの意向調査の動向なども踏まえてどういうふうに来ていただけるのか、それと病棟の再編も含めてやはり院内の施設設備ですよね。そういったものを含めての見直し作業を今鋭意行っているところなので、本当にできるだけ早くまとめていきたいと思っています。

(北海道新聞)

何か経営強化プランの中身によって国からの交付金というのも少し変わってきたりするのでしょうか。

(副市長)

一番大きいのは起債借入の部分だと思うのですが、前段のプランでそれを認められていますので、今回は変更ということで、変更したことによって新たに云々というのはないです。

(市長)

それはないのですが、これからおそらく総務省、もう去年の段階で言っていましたが、病床整備に対する交付金、交付税措置ですか、それは正確に言うと一般会計の病床整備に対する繰入に対する交付税、それについては今 1 平米 59 万円でしたか、それもしっかり見直して上げていきますと、毎年見直していきます、というのが去年からアナウンスされているのですが。

(北海道新聞)

ちょうど病床数削減に対して自治体病院も対象にすると内示が出たという話がありましたが、岩見沢は今回対象になるのでしょうか。

(市長)

病床数の適正化支援事業、これが全国的にいろいろ話題になってるものですね。岩見沢市にも 2 月か 3 月の段階で意向調査というのが来ていますので、それに対して報告は上げています。

ただこれまで病床数適正化支援事業は、ご存知の通り公立病院は一般会計からの繰り入れのあるところを除きます、ということで、そうなると実際自治体病院は全く該当しませんので、民間

病院を優先して、その後既存の予算をかき集めて何とか、という、それが今回直近で報道された1施設10床とかいう話ですが、ただ当然それだけでは賄いきれないので、国の補正予算を含めて予算措置が、財源措置がどうなるかというのが今後のポイントになってくるのだと思います。岩見沢でも先ほど申し上げた通り上げています。

（北海道新聞）

希望というか、報告はしていると。

（市長）

はい。上げています。

（注）この記録は、重複した言葉遣いや明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。（作成：総務部秘書課広報係）